

(宛先) 小牧市障害者自立支援協議会長

2024年 2月 7日

次のとおり日中サービス支援型共同生活援助事業を開始しますので、意見書を作成してください。

申請者	フリガナ	カブシカアイシャ マックビーヒル シュウロウシエンキョウ		
	法人名	株式会社マックビーヒル就労支援機構		
	住所	名古屋市中村区太閤通五丁目19番3号		
	電話	052-583-1111	ファクス	052-583-1110
	フリガナ	コヤマ マサヤ		
	代表者氏名	小山 雅也		
事業所	フリガナ	マックビーレジデンス コマキコマキハラ		
	名称	まっくびーレジデンス小牧小牧原		
	所在地	愛知県小牧市小牧原樋下土地区画整理9街区3-1番(仮換地)		
事業開始日(予定)	2024年 7月 1日			
障がい福祉サービス事業等の実績				
●市内での実績(サービス種別・実績年数) (例) ◇◇(事業所名) 就労継続支援B型 平成18年～現在				
●市外での実績				
・まっくびーの丘太閤通 就労継続支援A型 H24年～現在				
・まっくびーの丘丸の内 就労継続支援A型 H25年～現在				
・まっくびーカレッジ太閤通校 放課後等デイサービス H28年～現在				
・まっくびーカレッジ太閤通校 児童発達支援 H29年～現在				
・まっくびーカレッジ名楽町校 放課後等デイサービス H30年～現在				
・まっくびーワークス北名古屋 就労継続支援B型 H30年～現在				
・まっくびーワークス春日井 就労継続支援B型 R4年～現在				
・マックビーレジデンス大垣 共同生活援助、短期入所 R4年～現在				
・まっくびーレジデンス垂井町 共同生活援助、短期入所 R5年～現在				
・まっくびーワークス垂井町 就労継続支援B型 R5年～現在				
・まっくびーレジデンス北名古屋 共同生活援助、短期入所 R5年～現在				
・まっくびーレジデンス春日井 共同生活援助、短期入所 R6年～現在				
運営・支援について				

●日中サービス支援型共同生活援助事業を開始する目的

現在、未就学児の児童から成人の方まで、障害をお持ちの福祉支援を必要とされる方の日中支援を 10 年程させていただいておりますが、本人や家族から将来住む場所についての不安を相談されることがあります。中には、50 歳を超えた利用者さんが、今まで生活を支えてくれていた親の高齢化で、家族や自分の将来への不安を相談されるケースがあり、高齢となり介護が必要な状態になっても安心してサービスが受けられる居住の場として日中サービス支援型共同生活援助の必要性を徐々に感じておりました。この度、縁あって、小牧市小牧原での運営の話土地のオーナーさん、建築会社さんよりいただき、日中サービス支援型共同生活援助の運営を決意致しました。

●支援の基本方針

利用者の皆様に、より一層健康的な生活を送っていただくために、趣味活動や社会参加の機会を多く設け、一人ひとりの自主性を尊重したサービスの提供を徹底するとともに、潜在的な能力を見つけ出し、できる限り自立的な生活が送れるよう支援していきます。

●日中の支援方法

(日中をGHで過ごす利用者に対して、どのような支援を行うのか。)

- ①食堂を居場所と位置づけスタッフと話しやすい、くつろげる空間づくりに努めていきます。リビングに大型テレビを設置し、テレビやYouTubeをみんなで見るなどして、楽しんでいきます。
- ②毎日健康チェックとして、体温測定、血圧測定、体調の聞き取りを行い、記録を取っていきます。
- ③通院や公的機関への外出時の付き添い支援、予約制にて行っています。通院に関しては必要に応じて対応しています。
- ④買い物同行や買い物代行についても予約制にて行っています。
- ⑤入浴、トイレ介助などは、区分の高い利用者で必要に応じて行っています。
- ⑥おやつ作りや季節のイベントを行い、楽しく過ごせる仕組みづくりをしています。(クリスマス会、福笑い、バレンタイン、誕生日会、買い物レク、テイクアウトレクなど)
- ⑦金銭管理を利用者の同意を得て、必要に応じて行っています。
- ⑧日中の過ごし方については、利用者の意思に沿いながら決定していただきます。意思の決定が難しい方には、個別支援計画書に沿って職員から日課の提案をして、日中を充実して過ごせるように支援をしています。

●地域との交流方法

(地域住民との交流の機会を確保する工夫等)

地域からの要望があれば、懇談会をして交流を深めていきたい。自治会行事には、参加させていただき、開かれたグループホームの運営をしていきたい。

●利用者の健康管理について

(医療機関との連携、医師や看護師の訪問の有無、日々の健康チェック方法等)

- ①健康管理については、グループ会社の看護師が月に2回訪問し、健康相談、服薬確認、バイタルチェックを行っています。日々の健康チェック方法として、毎日決まった時間に検温、血圧を計っています。
- ②緊急時のマニュアルを作成し、救急車を呼ぶ必要があるかなど、迅速な対応ができるように対応しています。
- ③グループ会社以外にも、入居者が以前から通院しているかかりつけ医や、地域の内科、歯科医などの、地域の医療支援も取り入れながら支援しています。
- ④てんかん発作のある方に対しても受け入れ、環境を整備し、職員には事前の情報共有、発作時の対応について社内研修や、ミーティングで伝えています。

●食事について

(栄養士の有無、食事の提供方法等)

- ・栄養士のいる外部の会社へ依頼予定。食材が届き次第、衛生管理に十分に注意した上でレシピに沿って調理を行い、個々の食事形態に合わせて提供する。

●運営の特色や工夫等

医療的ケアや強度行動障害のある利用者の方の入居に対応できるように、経験を積み重ねていき、職員の支援スキルの向上のための体制作り等、準備をしていく必要があると考えています。事業所内での研修と会社レベルでの研修また、外部の研修に積極的に参加できるようスタッフには情報提供していきます。

●運営における課題（運営資金・人材確保等）

ランニングコストを事前に計算した上で十分に資金を確保して、出来る限りのリスクマネジメントを行っていく。万が一予想外の事が起きても対応出来るように余力をもって運営にあたっていく。

人材確保の具体的な施策として、有資格者は勿論ですが、無資格の方も積極採用し、社会福祉従事者の養成を研修によって行うとともに、資格の取得援助、職員処遇の充実、快適で風通しの良い職場環境づくりに取り組んでいきます。

利用者について

●対象者の障害支援区分

- ・区分3～6の方が対象

●利用者の支給決定市町村の状況

〇〇市 〇名、〇〇市 〇名、〇〇町 〇名

※名古屋市の場合は区も明記。愛知県外は都道府県も明記。

小牧市、江南市、北名古屋市、春日井市、岩倉市、犬山市、丹羽郡大口町

●利用者の障がい特性等とその具体的な支援方法

(医療的ケアの必要性や、強度行動障害のある利用者の人数等)

知的…個々の能力やニーズに合わせた支援を提供します。非言語的な手段やコミュニケーション支援具を活用してコミュニケーションを促進します。生活の環境を調整し、最適な状態で活動できるようにします。家族や相談支援員と連携しより良い支援体制を構築します。地域社会での参加を促進し、偏見や差別に対する理解を広めます。

身体…環境や施設を身体的に利用しやすいように改善し、車椅子や補助具の使用も視野に入れながら日常生活でより自立して活動できるように支援します。残存機能の最大限の維持や向上を図れるように支援します。

精神…個々の特性に応じて非判断的なコミュニケーションも取り入れて信頼関係を構築していきます。個々の症状やニーズに合わせて医療機関や家族とも密に連携することや、安定した生活環境を整えることで日常的に安心できる環境をつくります。傾聴する機会を随時確保する事によって精神的な負担の軽減に努めます。

●利用者のサービス利用状況 (予定)

- ・日中活動サービス等利用者 4人

(各人の日中活動サービス等事業所の名称(所在地)、サービス種別及び利用頻度、土日祝日の過ごし方等)

- ・GHで日中を過ごす利用者 5人

●利用者の入退去の状況。

- ・なし

●空室がある場合(新設等含む)の入居者募集方法や申込状況

- ・相談支援事業所からの紹介
- ・ホームページからの問い合わせ
- ・病院からの紹介
- ・同業者からの紹介

●その他特記事項があれば記入してください。

<添付書類>

- ① 指定申請書（様式第1号）
- ② 指定に係る記載事項（付表7）
- ③ 事業所（建物）の平面図
- ④ 運営規程
- ⑤ 従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表 ※申請時点の（案）で可